

<特色ある学校宣言文>

夢と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動する生徒の育成を目指し、地域とともに育つ学校づくり

所沢市立狭山ヶ丘中学校「学校だより」 — 令和5年9月 —

URL : <http://www.tokorozawa-stm.ed.jp/sayamagaoka-jh/>



狭中だより

[学校教育目標]

『自立と共生』

校長 石原 健

記録的猛暑、災害級の暑さ…こんなセリフをこの夏休みの間に何回聞いたでしょうか。とにかく暑い夏休みでした。その暑さが収まることなく始まった今年の2学期。生徒たちそれぞれそれなりの夏休みを過ごし、元気な表情とともに学校に戻ってきました。今学期もよろしくお願いします。

◇始業式校長講話より◇

～冒頭部分省略～

さて、明後日9月1日は何の日か知っていますか？9月1日は防災の日です。では、なんで防災の日なのでしょう？9月1日は「関東大震災」という大きな地震が起きた日であり、加えて、これからの時期は台風シーズンでもあり、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、防災の日が創設されました。その関東大震災ですが今年は発生から100年という節目の年となります。だから、今年はニュースや新聞をはじめ関東大震災という言葉が多く耳にします。皆さんにとって関東大震災はあまり馴染みのない震災だと思いますが私が皆さんの年頃の時は、阪神淡路大震災も東日本大震災も起きていなかったですから、大きな地震災害と言えば関東大震災でした。この地震により、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県で震度6を観測しました。また、発生が昼食の時間と重なったことから、多くの火災が発生し、大規模な延焼火災に拡大しました。ちなみに地震の大きさや被害諸状況を東日本大震災と比べてみるとマグニチュードは東日本大震災で9.0、関東大震災で7.9。死者数は東日本大震災で1万8千人、関東大震災で10万5千人。全壊・全焼家屋は東日本大震災で12万棟、関東大震災で29万棟となり、皆さんも東日本大震災の被害映像は目にしたことがあると思いますが、あれ以上の大きな被害を及ぼした地震がここ関東で起きたのです。被害の大小については、様々な理由が考えられますがその一つとしては、国民の大地震への備えという意識が当時より高くなっているということが挙げられるでしょう。皆さん、「温故知新」という四字熟語を知っていますか？意味は「過去に起こった出来事や教を良く調べて学び、そこから新たな知識を知る」ということです。先ほど説明した関東大震災が起きてから100年というタイミングを一つの契機とし、それぞれの立場で、防災について今一度考え、改めて災害に備える機会として下さい。



話は変わって、夏休み中に世界的なスポーツイベントがいくつか開催されました。現在行われているものこれから行われるものもあります。その中で世界陸上を見た人はいますか？その世界陸上で活躍した選手の中に狭山ヶ丘中学校の卒業生がいたことを知っている人はいますか？その卒業生とは男子400mに出場した佐藤拳太郎選手です。佐藤選手は、1994年生まれの28歳。リオ、東京とオリンピックにも二大会連続で出場している400m走の日本記録保持者です。本大会では自身の持つ日本記録を更新しながらも準決勝で敗退してしまいましたが、自己ベストを出せたということは今までの自分を越えたということです。その様な活躍をしている先輩に負けなくらい皆さんも自分の持っている力を存分に発揮し、今までの自分を越えられるようそこにいるクラスの仲間たちと共に頑張ってください。

こちらはこのページの一番下をお願いします

<ご連絡>

7月の学校だよりで9月13日(水)に開催される体育祭ですが、当初校舎の外壁塗装等で自転車置き場が確保できないという理由から「来校は徒歩をお願いします」としていましたが、工期の変更に伴い自転車置き場の設置が可能となりました。つきましては後日配布するプリントを参照の上、所定の場所に駐輪するようにして下さい。